

# 青木かずのり県政報告

Vol.  
8



 常任委員会質問

 決議紹介

 地域活動

 質問の成果

平成29年2月定例議会が開会  
3月10日農林水産商工常任委員会で質問！



## 問1

さが土産品開発支援推進事業について

## 問2

シカによる森林被害の水際対策について

## 問1 さが土産品開発支援推進事業について

さが土産品開発支援推進事業は、土産品開発を軸に地域を代表するブランドの構築や魅力的な商品開発、そして販売展開と情報発信を専門のコンサルティングとともに創出するべく始まった事業です。

佐賀県には、多くの魅力的かつ素晴らしい県産品があります。魅力的な土産品があれば、本県の認知度向上にも繋がるものだと感じ、県に提案しました。

しかしながら我が国では、人口減少時代でありながら物は溢れるという時代でもあり、商品を製作すれば簡単に売れるということはありません。

質問する上で、各地の様々なお土産品店を巡りご意見を伺い、現場を調査して参りました。一貫して言えますのは、それぞれの販売店の皆さまが地域発展へ熱い想いを持って取組まれているということです。自発的な地域発展に向けた発想や熱意ある事業所への支援に繋がるのが大切であるのと同時に、一過性の事業とならないように本事業が成果を出して先々に残る事業となることを期待しています。

本事業は、補助金などの事業者への助成が事業者の方々の望まぬ足かせなどになってはいけません。また、他の自治体でよくあるような成功例をコピーしたような事業では成功も難しいと思います。そして何より危惧するのは、コンサルティング頼みのみとなり予算と事業が終わってしまうと県民をはじめ事業者の方々に認知されないうままになってしまうことです。

商品開発においても、流行に左右されず継続的に売れる商品を開発できるよう努力する必要があると、特に営業と実需の調査が重要なのではないかと思います。営業や調査を通じ実需をもとに商品を開発し販売展開に繋げるべきです。

本事業を推進し土産品開発に全力で取組み、事業者の方々の地域発展の後押しとなり得る事業となることを期待します。

## 問2 シカによる森林被害の水際対策について

私は平成28年度、森林林業に関する基本計画や重要事項等について協議を行う佐賀県森林審議会の委員を拝命しています。平成28年12月に行われました審議会にて、全国的に野生のシカが森林に大きな被害をもたらす一たび侵入してしまうと甚大な被害と対策のための多額の予算が必要になり、我が県へのシカの侵入は時間の問題なのだと言った専門家の方から伺いました。九州では、唯一佐賀県だけが高速道路や国道3号線などによる地質的理由で被害が出ておらず、シカの生息も今のところ確認されていませんが水際対策の重要性を認識し質問に上げました。国の地方機関である林野庁九州森林管理局佐賀森林管理署ともニホンジカ被害対策と佐賀の現状について意見交換いたしました。

九州管内の鳥獣による森林被害は約1,000ha程度で推移し鳥獣による森林被害の内、シカによる被害は約9割を超えています。我が県ではシカの被害が無い為にイノシシの被害が目立ちますが、全国的にまた九州においてもシカの被害ははるかに上回っていることが分かります。

環境省が作成した密度分布図によると関東山地から八ヶ岳、南アルプスにかけての地域や近畿北部、そして九州で生息密度が高い状態であると推定されています。

そして、スギやヒノキの皮の糖度がリンゴより高い可能性もあるなどシカによる枝葉の食害や剥皮被害が8割を占め、被害が発見すれば森林環境が激変することは避けられません。

現在、県ではシカの被害は確認されていないものの、モニタリングや監視カメラを設置した取組みなど対策を講じています。平成29年2月16日に鳥栖市の牛原にシカの食害とおぼしき箇所が見つかりましたが、監視カメラにより今回の被害はヤギによるものでした。しかし樹皮の剥離が見られることから、完全にシカの可能性が無くなった訳ではないことも分かりました。

今後シカが県境を越えて佐賀県に侵入し佐賀県内で繁殖すれば、隣県へも迷惑をかける危険性があります。またシカが一旦群れをなして本県の森林に侵入すれば、植栽したスギやヒノキの苗木を食いつくし林業経営に大きな影響を与え木材の価値も無くなり、森林内に生えている草木を食べてしまうことによって表土がむき

出しになり、降雨時による土砂の流出などの危険性が増加するといった、森林の有する多くの有益性を脅かす存在となってしまいます。加えてシカは一夫多妻で、捕獲したメスの約9割は妊娠しています。年間1頭しか出産しませんが、2歳から出産可能で70%以上が毎年出産することから急激に増加しやすい動物と言えます。

九州農政局の平成26年度のデータでは、九州全県のシカによる農作物被害金額が総額5億2,400万円で、最も被害金額が多いのが2億3,000万円（宮崎県）、続いて1億3,000万円（鹿児島県）、続いて6,200万円（福岡県）、続いて4,000万円（熊本県）、続いて2,800万円（大分県）、最後に1,700万円（長崎県）でした。もし佐賀県に被害が出ると、対策を講じ税金から予算を捻出することとなってしまいます。今後、県として調査研究し侵入を予防するような取組みが必須だと確信し被害の水際対策を提案しました。

佐賀県がシカによる森林被害を水際で対策し、今後もしっかりと監視していくことを願っています。

## 決議 北朝鮮による弾道ミサイル発射に抗議する決議が全会一致で可決されました！

本年、2月12日及び3月6日に4発の弾道ミサイルの発射を繰り返し、我が国及び地域、そして国際社会全体の安全保障に対する明らかな挑発行動であるとして、佐賀県議会は北朝鮮に対し、ミサイル発射の行為に断固抗議するとともに、政府及び国会においても国際社会が一致結束し、北朝鮮に対して制裁措置の全面的で厳格な実施を求め、平和的解決に向けて抜本的な政治的外交的努力により国連決議の遵守を北朝鮮に働きかけるよう求める決議が3月13日の採決において全会一致で可決されました。

## ズ フリーゲージトレイン試乗

佐賀空港新幹線問題等特別委員会でFGT（フリーゲージトレイン・軌間可変電車）に試乗視察しました。

フリーゲージトレインとは、レール幅に合わせて車輪の間隔を変えて走行できる電車のことです。

新幹線レールと特急等の在来線レールではレール幅に差があるため、FGTは既存の在来線ルートを使用しつつ新幹線の特性も保ちながらの走行が可能となります。

しかし、新幹線モードで最大速度が270km/h、在来線モードで最大速度が130km/hと既存の「のぞみ」の速度には及ばず、新幹線西九州ルートから本州ルートへの乗入れ等に課題があるのも事実です。

現在、車軸の摩耗対策の改良やさらなる安全性向上に向けて研究開発が進められています。



車軸交換周期のメンテナンス費用が従来新幹線の約3倍になることなど、費用対効果を考える必要があると同時に、佐賀県にとっても未来に希望が持てるものとなるよう、引き続き丁寧な議論を重ねていかねばなりません。

## ズ 佐賀森林管理署と意見交換

国の地方機関の林野庁九州森林管理局佐賀森林管理署を訪問し、県の森林整備をはじめニホンジカの対策状況について意見交換しました。

九州で唯一、ニホンジカの被害が確認されていないのが佐賀県です。

ニホンジカ被害がこれまで確認されなかった要因は様々ありますが、一度被害が確認されてしまうと対策や予算計上と県政にとって莫大な負担となってしまいます。

水際対策を徹底し、佐賀県の森林と農作物を守るために対策を講じていく必要があります。



## 質問の成果

### 一般質問で取上げた内容が推進及び新事業として動き始めました！

内容：平成28年6月議会一般質問で取上げた「道徳教育について」の中で、教科化される道徳教育の推進と充実を提案しました。

改正点：さがを誇りに思う教育の推進の中の、主な具体的な取組みで「特別な教科である道徳の全面実施に向けた取組みの推進」が新たに追加されました。



内容：平成28年11月議会一般質問で取上げた「まちづくりの視点からの無電柱化について」の中で、美しい景観づくり、道路拡幅、生活環境の改善のために電柱の地中埋設化を提案しました。

改正点：美しい景観づくりの施策として、良好な景観の形成に積極的に取り組む市町が行う無電柱化事業に対する支援として新規事業が始まり予算が計上されました。



## 青木かずのり活動報告

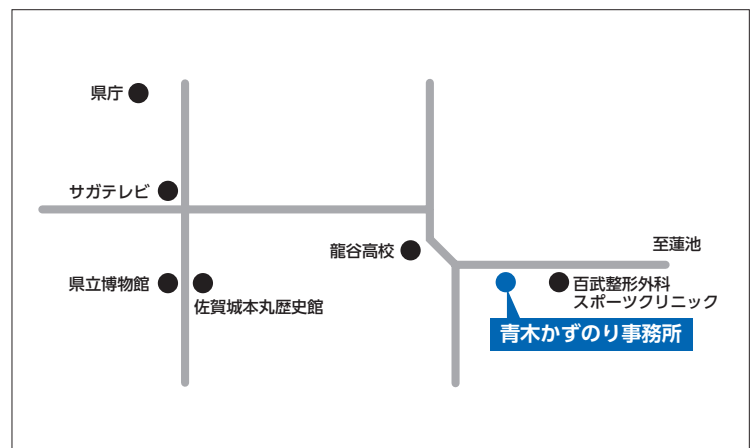
- 1月 元旦元朝式参列  
新年賀詞交歓会出席  
県執行部との新春交礼会出席  
靖国神社参拝  
大託問おひなさまかざり訪問  
地方議員研究会主催セミナー出席：福岡市
- フリーゲージトレイン（軌間可変電車）試乗視察：熊本県議員交流セミナー出席：鹿児島県
- 2月 さが農業まつり訪問  
第44回佐賀記念観覧  
佐賀県森林審議会出席  
九州観光振興議員連盟設立総会出席：大分県  
建国まつり奉祝式典参列  
異業種交流会記念祝賀会出席  
2月議会開会
- 佐賀森林管理署を訪問し意見交換  
玄海原子力発電所に関する県民説明会参加
- 3月 佐賀南警察署内覧会出席  
遺伝子組み換え作物フリーに向けた交流会参加  
農林水産商工常任委員会県内視察  
農事組合法人小鹿ファーム：神崎市  
佐賀大学農学部IT農業三者連携協定：佐賀市  
農林水産商工常任委員会3/10  
北朝鮮に拉致された日本人を救出する県民の会総会出席  
佐賀空港・新幹線問題等特別委員会3/17  
やまばと山村留学歓送迎会出席

### 2018年に明治維新150年を迎えます



### 青木かずのり事務所

〒840-0054 佐賀市水ヶ江4丁目1-43  
TEL 0952-97-9323 FAX 0952-97-9324  
公式HP <http://aokikazunori.com>  
E-mail [aoki.saga@gmail.com](mailto:aoki.saga@gmail.com)



facebookとtwitter随時更新中